

福祉ぐんま



特集

P2・3

障害者スポーツを知ろう

つながる福祉

群馬県社会福祉事業団
(群馬県立点字図書館)

唐澤 剣也さん

{関連記事は6ページ}

CONTENTS

- P4 令和2年度 事業報告・決算概要
- P5 福祉サービス第三者評価事業について
- P6 つながる福祉 インタビュー
県社協会員紹介

- P7 まちの社協レポート～明和町社協～
- P8 INFORMATION

- 災害協定を締結しました
- 苦情相談
- 心配ごと相談

ホームページは
下記のQRコード
からアクセスして
ください。





特集

障害者スポーツを知ろう

今回の特集は、注目が集まっている障害者スポーツについてです。
群馬県内の障害者スポーツの取り組みをはじめとした情報をご紹介します。

障害者スポーツって、
どんなものがあるの？

■ 身体障害者

個人競技

- 陸上競技
- 水泳
- 卓球
- サンドテーブルテニス
- 車いすテニス
- アーチェリー
- フライングディスク
- ボッチャ
- ジャベリックスロー
- スラローム・電動スラローム
- ビーンバック投

団体競技

- 車いすバスケット
- バレーボール
- シッティングバレーボール
- グランドソフトボール

■ 知的障害者

個人競技

- 陸上競技
- デモンストレーション
- 水泳
- 卓球
- ボウリング
- フライングディスク
- ジャベリックスロー

団体競技

- ソフトボール
- フットベースボール
- サッカー
- バスケットボール

■ 精神障害者

個人競技

- 卓球

団体競技

- バレーボール

群馬県内の障害者スポーツ

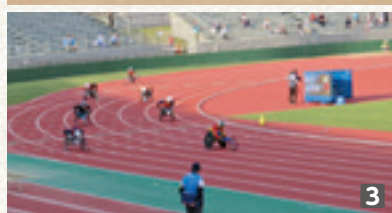
群馬県で活動している障害者スポーツの団体については、群馬県障害者スポーツ協会で把握しており、現在の活動団体は約30団体あります。個人競技は、陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ、団体競技では、バレーボール、サッカー、バスケットボール、フットベースボール、ソフトボールなどの競技があります。

スポーツを楽しむ機会として年に1回、「群馬県障害者スポーツ大会」を開催しています（主催は群馬県障害者スポーツ協会）。昨年はコロナの影響で全競技開催が中止となりましたが、毎年、延べ1,800人を超える方が参加しています。

また、群馬県障害者スポーツ協会では、障害者スポーツについてお問い合わせのあった方から要望を聞き、仲介をしています。要望や問い合わせは、本人、家族、親戚、知人など障害者本人と関わりのある方はもちろん、障害者スポーツに携わりたい、協力したいという方からのお問い合わせも受け付けています。

全国的な障害者スポーツ

全国的な障害者スポーツの祭典「全国障害者スポーツ大会」は毎年、国体の後に開催されています。全国の都道府県、政令指定都市の選手団が出場し、選手役員約5、500人が参加しています。個人競技と団体競技、それぞれ7競技で実施されます。群馬県からも



1 アーチェリー 2 サッカー(知的) 3 陸上・レーサー
4 ボッチャ講習会 5 バスケットボール(知的) 6・7 パラ駅伝

選手団として、毎年約30名の選手を派遣しています。大会まで練習を重ねていく中で、障害【身体(肢体・聴覚・視覚)、知的、精神】や競技の垣根を超え、スポーツを通じて親しくなる選手も多くいます。団体競技では、全国6つのブロックで予選会が行われます。予選を通過したチームが全国大会への出場権を獲得することができますため、関東ブロック地区予選会へ出場する選手たちは、予選会通過を目指して強化練習を重ねています。

トップアスリート等交流事業

世界大会への出場経験もあるパラアスリートや群馬クレインサンダーズ、ビックカメラ女子ソフトボール高崎、パナソニックワイロドナイツ等で活躍している選手が特別支援学校等に訪問し、児童・生徒と交流しています。また、指導者と一緒に障害者スポーツを体験することで、スポーツを身近に感じてもらい、競技人口を増やす取り組みをしています。

今後の課題

障害者スポーツの競技種類も多岐にわたり、選手・指導者ともに不足しています。団体競技など、人数がそろわず大会への出場を見合わせることもあります。また、会場(練習場所含む)の確保が難しいところがあり、スポーツが楽しめる環境づくりが必要となっています。

詳しくは…

群馬県障害者スポーツ協会
ホームページをご覧ください



令和2年度 事業報告・決算概要

1 事業の概要

令和2年度事業は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも、群馬県の地域福祉を推進していくため、新しい生活様式を踏まえた様々な取り組みを実施してきました。

具体的には、Zoom等を利用したオンライン会議や研修会の開催、セミナーのWeb配信、eラーニングによる受講体制の整備などが挙げられます。また、生活困窮者を支えるための生活福祉資金特例貸付の実施や、テレワーク環境の整備などのニューノーマルな働き方への転換に向けた各種取り組みについても、全職員で進めてきました。

平成28年度にスタートした第2期活動推進計画に基づく事業の実施も、令和2年度が最終年となります。

「県民だれもがともに支え合い、住みなれた家庭・地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会」を基本理念に、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、そして県行政との連携の下で各種事業を実施してきました。その中心となる主な重点事業の概要は次のとおりです。

1 地域福祉活動の促進支援

● **地域共生社会の実現に向けた連携事業の推進**
市町村社協基盤強化検討会（集合&Web開催）、地域共生社会推進セミナー（動画配信）、地域共生社会アドバイザー派遣事業等

● **住民による地域福祉活動の活性化促進**
生活支援コーディネーターブロック別情報交換会（集合&Web開催）、ふれあい・いきいきサロン研修会（DVD制作&動画配信）、市町村社協トップセミナー（動画配信）、地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会（県と共催）等

● **ボランティア・市民活動の推進、福祉教育の充実**
企業等の社会貢献セミナー、コロナ禍における県内ボランティア活動通信の発行、住民支え合いコーディネータースキルアップ講座（集合&Web開催）、福祉教育セミナー等

2 災害時における活動支援体制の構築

● **災害福祉支援ネットワークの構築**
災害時の相互応援に関する基本協定書の運用に向けた図上訓練（集合&Web開催）、災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定書に基づくチーム員の研修・検討会等

● **市町村災害ボランティアセンターの機能強化**
災害ボランティアセンター設置運営研修会、市町村社協事業継続計画（BCP）策定研修会（集合&Web開催）、災害支援セミナー・II、みなかみ町豪雪災害に伴う職員派遣等

● **新型コロナウイルス等の感染症に対応した体制の整備**

高齢者・障害者施設への応援職員派遣支援事業研修会（高齢者施設向け・障害者施設向け）等

3 生活困窮者等への相談支援体制の強化

● **生活困窮者自立相談支援事業における相談支援体制の強化**
県内23町村における生活困窮者支援のための相談支援の実施等

● **生活福祉資金貸付制度における相談・債権管理体制の充実**
新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の実施等
【特例貸付決定件数36,821件、貸付決定金額11,813,918,000円】

● **地域における民生委員・児童委員活動の一層の推進**
新任民生委員・児童委員研修会（大規模集合↓DVD動画配信による小規模研修へ切替）、中堅民生委員・児童委員研修会（動画配信）等

4 地域における生活支援体制の強化

● **権利擁護事業の強化**
日常生活自立支援事業の推進、法人後見専門員養成研修会、成年後見制度普及啓発セミナー、権利擁護課題検討会準備会、死後事務、身元保証・身元引受等に関する調査等

5 福祉人材の充実と定着支援の強化

● **人材確保のための連携強化**
福祉マンパワーセンターの管理・運営、福祉の仕事フェア、福祉の就職ガイダンス、介護職員相談サ

ポータルセンター、介護支援専門員実務研修受講試験等

6 研修事業の充実による人材育成

● 研修機能の強化

階層別研修（Web開催）、介護支援専門員の実務・更新・再研修の実施（Web開催）、群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（eラーニング）等

7 社会福祉法人への支援と福祉サービスの質の向上への取組

● 社会福祉法人・施設等への支援と連携強化、福祉サービス向上への取組強化

群馬県社協民間社会福祉施設等職員共済事業、群馬県ふくし総合相談支援事業（なんでも福祉相談）、社会福祉法人の公益的な取り組みテーマ別実践発表会・情報交流会（集合&Web開催）、第三者評価事業の受審促進、苦情解決セミナー（動画配信）等

8 組織基盤と財政・経営の強化

● 事務局体制の充実、財政の健全化と経営の透明性の確保、社協の広報機能の強化、関係団体との連携の強化、社会福祉振興基金の運営

法人運営の強化、県社会福祉関係予算の要望活動、県内の民間社会福祉事業に対する助成事業、県社会福祉大会、福祉パスの運行等

2 決算の概要

[単位：百万円]

収入の部	一般会計	生活福祉資金会計	合計
事業活動による収入	663	158	821
その他の活動による収入	655	17,162	17,817
合計	1,318	17,320	18,638
支出の部	一般会計	生活福祉資金会計	合計
事業活動による支出	924	11,307	12,231
施設整備等に支出	4	10	14
その他の活動による支出	738	361	1,099
合計	1,666	11,678	13,344
前期末支払資金残高	2,186	1,386	3,572
当期末支払資金残高	1,838	7,028	8,866

※ 令和2年度収支決算書につきましては、社協事務局に備えて付けてありますとともに、ホームページにも掲載しています。



新型コロナウイルス感染症感染防止対策への取り組みをまとめたリーフレットを作成



福祉サービス第三者評価事業について
～福祉サービスの質の向上を目指して～



福祉サービス第三者評価とは、質の高い福祉サービスを事業者が提供するために、社会福祉施設等において実施される事業について、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みです。第三者評価を受審した事業所からは、内部への影響として、①施設サービスを見直す機会、②業務マニュアルの見直し・追加、③職員の意識改革として、有効であったとの声が寄せられています。また、外部への影響として、①利用者や地域住民への安心・信頼の担保や②求職者の事業所に対する期待につながる他、③事業所同士が切磋琢磨し合いより良いサービスの向上を目指していること等、その効果の大きさを伝えてくれています。

第三者評価を受審するには、費用もかかりますが、保育所

や認定こども園の場合、第三者評価受審料の加算制度があり、就労継続支援A型事業所においては、本年度より障害福祉サービス等報酬改定において、基本報酬にスコア方式が導入され、そのスコア評価における加算要件の1つとして第三者評価の受審状況が盛り込まれる等、第三者評価の受審が推進されています。

また、群馬県社会福祉法人経営者協議会では会員法人に限定して、受審料の一部を補助しています。サービス内容の点検や職員への内部研修の充実等にもつながるため、積極的に福祉サービス第三者評価事業をご活用ください。

受審までの流れ等詳しくは本会ホームページをご覧ください。



◆群馬県社会福祉事業団
(群馬県立点字図書館)
唐澤 剣也さん

唐澤剣也さんは、先天性の網膜剥離が原因で小学4年生の時に視力を失いました。現在は群馬県立点字図書館に勤務しながら陸上競技に取り組み、東京2020パラリンピックでは男子5000m視覚障害のクラスで見事代表に内定しています。

Q 陸上を始めたきっかけを教えてください。

A 中学の部活動で陸上を始めました。走ることは小さい頃から好きでしたが、一人で走ることが難しいので、限られた時間の中で走ることしかできませんでした。でも体育の時間や部活動などで先生がついてくださって、大好きなランニングができるようになり、陸上競技を始めました。

Q 点字図書館に勤務しながら仕事と競技を両立されていますが、お仕事の内容を教えてください。

A 点字の本や録音図書の出時の電話応対が中心です。また、点字の本を作るボランティアさんに点字を教える講師もやっています。また、小学生の点字体験にも携わっているのですが、小学生のみんなが



唐澤 剣也さん

楽しそうに点字を学んで、実際に読んだり書いたりできるようになると、とてもうれしいです。

Q 就職と同時に競技からいったん離れていたそうですね。

A 就職して半年ほど競技を離れていましたが、リオパラリンピックのニュースを聞いて、自分と同じような障害を持っていての方が世界の舞台で活躍されている姿に刺激を受け、自分もやってみようという気持ちになりました。

Q 2019年のパラ世界陸上選手権では、見事東京2020パラリンピックの代表に内定されています。

A 内定するには4位以内に入ることが条件だったので、それを意識して走っていました。前半は無心で集中して走り、後半はペースが落ちてくる選手を一人ずつ抜きたい、という気持ちで必死で走りました。

ガイドランナーの方をはじめたくさんの方に支えてもらい、感謝の気持ちがあったので、内定ということの一つ恩返しでしたが、ありがとうございました。

Q ご自身の走りの特徴はどんなところだと思いますか。

A 苦しいところが強みだと思っています。粘れるというところが強みだと思っています。負けず嫌いなんです。

Q パラ陸上の魅力はどんな部分にあると思いますか。

A 視覚障害者に関しては、選手だけではなく支えてくれる伴走者さんなど、障害者と健常者の方が力を合わせて競技を行うところだと思います。他の選手にしても、例えば義足を作っている方と選手とが力を合わせているなど、選手だけでなく支えてくれる人と一緒に競技をしているという部分がパラ陸上の魅力だと思います。

Q 大会に向けた意気込みや、応援してくれている方へのメッセージをお願いします。

A 5月の大会(東日本実業団選手権)の5000mで、世界新記録を出すことができました。東京2020パラリンピックまではまだ少し時間があるのでもっと調整し、今の記録に満足することなく、もっともっと上を目指して、金メダルを獲れるように頑張りたいと思います。

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

一般社団法人群馬県障害者スポーツ協会

群馬県障害者スポーツ協会は障害者スポーツ普及・推進のための事業を行っている団体です。

「スポーツって楽しい」と感じてもらい、群馬県の障害者スポーツ人口が増えるよう、群馬県や競技団体等と連携して大会やイベントを開催しています。

今年度は新たにeスポーツの体験会も予定しています。

- 事業内容
- 群馬県障害者スポーツ大会開催
 - アスリート交流事業実施
 - 全国障害者スポーツ大会への群馬県選手団派遣
 - パラアスリートの発掘・育成
 - 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会開催 等



特別支援学校でのトップアスリート交流事業(ラクビー:ワイルドナイツプロモーション)



全国障害者スポーツ大会 群馬県選手団



事務局職員

群馬県障害者スポーツ協会では賛助会員を募集しています。

お問い合わせ先：0270-63-2600

まちの社協レポート



各市町村社協の
取り組み、活動を
レポートします

デマンド型乗り合い送迎 サービス実証実験中です！

運転免許証を自主返納するなどして移動手段を持たない高齢者が増えています。生活の足を失い、外出の機会が減り、足腰が弱ったり、人と話す機会が減る人も増えています。

明和町社会福祉協議会では、こうした普段の生活の中での高齢者の不安な問題を解決するため、「チョイソコめいわ」「楽ラクシー」というデマンド型乗り合い送迎サービスを3年間の実証実験で行っています。この実証実験は群馬トヨタ等と協力する官民連携により、税金に頼らない新たな交通手段を構築し、単に移動手段だけでなく家に引きこもりがちな高齢者が外に出るきっかけとなるよう、「コトづくり事業」とあわせて、地元密着型で「デマンド交通サポーター」と一緒に推進しています。

今後とも地域の課題解決に向けて、思いをかたちにする仕事を実践していきたいと思えます。

社会福祉法人 明和町社会福祉協議会

邑楽郡明和町新里311-3
TEL 0276-84-4013
FAX 0276-84-4904



明和町
社会福祉協議会
ホームページ



チョイソコめいわ車両



楽ラクシー車両



デマンド交通サポーター会議の様子

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

団体割引20%適用済／過去の損害率による割引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の9:30～17:30 (12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28作成)



お知らせ

災害協定を締結しました

令和3年6月1日、ライオンズクラブ国際協会333-D地区様と「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。協定では、県内等で自然災害が発生した際に、被災状況や支援ニーズの情報を共有し、人的・物的な支援で連携していくことを確認しました。

ライオンズクラブ国際協会
333-D地区キャビネット



ライオンズクラブ 田中地区ガバナー (左) と県社協 川原会長 (右)

苦情相談

福祉サービス運営適正化委員会では、福祉サービスに関する利用者からの苦情を解決するための相談・助言、事情調査、あっせん等を行っています。

相談時間 毎週月曜日から金曜日
9時～17時まで (祝日・年末年始は除く)

☎ **027-255-6669** (受付専用電話)

相談は無料です。また秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。
(来所の場合は事前にご連絡ください。)

心配ごと相談

心配ごと相談所中央センターでは、県民の皆様の様々な悩みや困りごと (家族関係や財産問題、サラ金問題など) に専門相談員 (弁護士) が対面にて無料法律相談に応じています。お気軽にご相談ください。

※ 個人の秘密は守ります。匿名でもかまいません。

日時 毎月第2・4木曜日
10時～12時まで (お一人様30分程度)

申込方法 事前に電話予約の上、来所ください。

予約受付 群馬県社会福祉協議会 生活支援課
☎ **027-255-6032**

福祉ぐんま

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでもご覧になれます。

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033 (代表)
FAX 027-255-6173
URL <https://www.g-shakyo.or.jp/>
発行日 令和3年7月1日

あとかき



5月19日に気象の平年値が10年ぶりに新しくなり、1991年から2020年の30年間の平均値となりました。

平年値の主なものには、気温、降水量、梅雨入り・明け、台風の発生数、桜の開花日などがあります。

これまでの平年値に比べ全国の地点で気温が0.1～0.5℃上がり、桜の開花が1～2日早まったそうです。

温室効果ガスの増加による地球温暖化も一因のようです。平安の頃の平年値はどのくらいだったのか知りたいものだと、かなわぬことを思ったりしました。

編集委員 県知的障害者福祉協会常務理事 荻原 広之